



学校だより

平成28年4月28日

横浜市立高田中学校

5月号(第28-02号)

TEL: 591-4183

28年度がスタートしました。

平成28年度がスタートして約1ヶ月がたとうとしています。高田中学校は、お陰様で順調にスタートすることができました。年度の始まりということで、多くの生徒が前向きに生活をしていることが感じられます。授業中の様子も、積極的に挙手をして発言するなど、意欲的に学習に取り組もうとしている生徒が多く見られます。集会時も、生徒会役員の指示に従って、きちんと整列することができます。話を聞く際も、話し手の方を向いて、しっかりと話を聞こうとする姿勢があります。



読書活動に取り組む生徒

今年度は、「高田の時間」をはじめとした新たな取り組みを開始しました。平成27年度の学校評価や全国学力・学習状況調査、横浜市学力・学習状況調査から、本校では次のような課題が見えてきました。その課題は、「高田中の生徒は、学習や行事などに高い意識をもち、とても熱心に真面目に取り組むことができるが、それが確実に結果として現れてこない」というものです。具体的には、要旨をまとめる力、文を推敲する力、自分の意見を述べる力などが不足していると分析しました。そこで、今年度は、「表現活動を充実させる」ことを目指して、「高田の時間」と、1年の国語授業において学級を二つのグループに分割して指導する少人数指導を設定しました。この「高田の時間」や国語の授業、そのほかの授業で、各単位時間や単元で、「読む活動」「聞く活動」「書く活動」「まとめる活動」「発表する活動」などを実施し、表現力を高めていきます。「高田の時間」の設定により、始業時間が8:30になり、保護者の皆さまにはご協力をお願いすることとなりましたが、よろしくお願いたします。

今年度の学校教育目標、指導の重点等ですが、おおむね昨年度の取組を継続していきたいと考えています。「総合的でバランスのとれた学校づくり」を更に充実させていきたいと思っています。

学校教育目標

学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる。(ストリートスマート、地域リーダーの育成)

子どもたちの自己実現を支援するために次の力をはぐくみます。

*自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力(知)

*自他の生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力(徳・体)

*ともに認め合い社会参画に努め、自他および社会を高めていく力(公・開)

指導の重点(平成28年度)

具体的な生徒の姿 — 育てていきたい生徒像

*自ら必要な課題を形成し、それを自力で解決していける力を持った子ども

*社会人基礎力をもった子どもたち

学習・生活：

目標をもち、それへ到達する方法を自分で考え、判断し自らの意志で取り組む。

社会参画：

積極的に社会に参画し、地域における次世代リーダーとなれるように取り組む。

仲間との関係：

多様化、複雑化する社会(地域)を生き抜くために、仲間で物事に取り組む。

健康・体力：

心身の健康、体力の維持向上に日常的に振り返りながら取り組む。

人権感覚：

人権感覚に敏感な感性をもてるように、日常の生活への取り組みができるようにする。

今年度取り組んでいきたい具体的な課題

～ 学校経営方針・指導の重点を受けて ～

(1) 教育活動全体に関わること

ア 学習指導要領の理解と教育課程の運営・改善の推進

・年間3回の職員研修会を行う。(2回は小学校との合同研修)

・月1回教育課程編成委員会を開催し、行事の見直し等の課題の検討を行う。

イ 学校評価の内容と実施方法の改善、結果の公開についての検討

・学校評価の結果を学校便りやウェブサイトで公開する。

ウ 創意工夫を生かした指導方法などの特色ある教育活動の展開

エ 個別支援教育の充実と特別支援教育研修の推進

(2) 学習指導に関わること

ア 学力向上のための指導の研究

・生徒による授業評価の実施について検討する。

・全員参加の研究授業を行い、教員同士が互いに授業を見た上で、授業改善のための研修会を行う。

・小学校との合同授業研修会を年2回程度実施する。

・学習習慣の定着のための取り組みについて、教科の特性を考慮し、研究する。(はまっ子学習ドリルの活用など)

イ 調べ学習など生徒の主体的な学習を重視した授業展開の研究

ウ 生徒の「よさ」を生かした評価方法の研究

・評価方法や精度を高めるための研修会を実施する。

エ 道徳教育及び人権教育の全体計画・年間指導計画の改善

・公開授業の際に道徳の時間を設定する。

・道徳授業のための研修会を実施する。

オ 読書活動の検証と情報発信の場としての図書館利用の推進

- ・学校司書と協働し、図書館利用について改善を図る。

(3) 特別活動に関わること

ア 学級経営の基盤となる計画的な学級指導の改善

- ・すべての学級で共通して指導する事項を確認し、適切な指導を行う。
- ・YPアセスメントなどを活用した、学級経営や生徒指導に役立てるための研修会を実施する。
- ・学級経営計画を立案し、年間の指導の見通しをもつ。

イ 3年間を見通した系統的、計画的なキャリア教育についての研究

- ・生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。
- ・1年次に職業講話、2年次に職場体験学習を設定し、地域の教育資源を生かし、進路指導を行う。

ウ 自主的・創造的な生徒（生徒会）活動の推進

- ・学校行事（校外活動、体育祭、合唱コンクール、文化祭等）を活用して、リーダーの育成や生徒一人ひとりが集団での自分の役割を自覚し、その役割を果たすことができることを目標に指導を行う。

(4) 生徒指導に関わること

ア 教育相談など生徒理解に基づく生徒指導の研修

- ・年間2回以上の教育相談を実施する。
- ・生徒理解の研修会を年間2回実施する。
- ・YPアセスメント等の生徒へのアンケート調査を利用した資料を基に行う研修会を実施する。

イ 学級指導を基盤とした生徒指導の充実を図る。

(5) 保健安全に関わること

ア 学校防犯体制及び学校防災の改善

- ・地震等の緊急時の対応マニュアルの見直しを行う。
- ・非常用の生徒用飲料水、食料の整備を行う。
- ・学校防災（特に地震等への対応）に関する研修会を実施する。

イ 基本的な生活習慣（食習慣）と学習意欲との関連についての研究

- ・食育に関する全体計画を必要に応じて改善する。

(6) 教職員の人材育成に関わること

ア 学校経営への参加意欲を高め、組織的・効率的な学校運営を目指す人材育成

- ・中堅職員が責任ある役割分担を担い、組織のリーダーとしての経験を積むとともに、若手職員の育成を行う。
- ・経験豊富なベテラン職員は、中堅職員に助言することにより、中堅職員を組織のリーダーとして育成する。
- ・若手職員は、中堅職員の指導・助言の下に、実務的な部分を担い、経験を積み教職員としての基礎的な資質・能力を伸ばす。

対面式

4月6日（水）に対面式が実施されました。入学式には、2，3年生の代表が出席しましたので、この対面式が、1年生が2，3年生全員と会う初めての機会となります。この対面式では、最初に1年生が学級ごとにステージに上がり、代表生徒の号令の下に「よろしくお願いします。」と挨拶をしました。2，3年生からは、高田中での生活を劇にしているの紹介がありました。その後、各専門委員会の代表により、委員会活動の説明、花の贈呈、新入生のことばとプログラムが続き、50分程で終了しました。この対面式をきっかけに、新入生と2，3年生が高田中学校の生徒としての自覚をもって、新年度をスタートすることができることを期待しています。



部活動オリエンテーション

4月11日（月）の5校時に1年生を対象とした部活動オリエンテーションが実施されました。最初に、部活動について校長より話があり、その後、12の部活動からそれぞれ活動についての紹介がありました。各部とも、新入部員を獲得するために、2，3年生が工夫を凝らして紹介していました。



お知らせ・・・セクハラ相談窓口のご紹介

平成28年度セクハラ担当窓口 ⇨ 守能 繁美（養護教諭）
堤 拓（生徒指導専任教諭）



学校内外で性的嫌がらせなどで困ったり、相談したいことがある時の窓口です。

秘密は厳守します。必要があるときは、遠慮なくご相談ください。

教育総合相談センター（一般教育相談）でも相談できます。
電話番号671-3726～8

おやおやの会 華道の会

4月作品